緑の光線（1985）

LE RAYON VERT
SUMMER

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 フランス
色彩 Color
時間 98分
初公開日 1987/04/25
公開情報 シネセゾン

【解説】

独りぼっちの夏休みを何とか実りあるものにしようとする若い女性の旅を、優しい南仏の光に包まれる幸福を観る者にも味わわせながら、おっとりと軽妙に語っていくロメールの技に感服してしまう、最良のバカンス映画。恋に恋する彼女の理想は高く、昔からの男友達も、新たに現われた男性もなんとなく拒んでしまう。この優柔不断さを“あるある”と頷いてしまう向きも多いのではなかろうか。題名の“緑の光線”とは日没の際、一瞬見えると言われる光のこと。もちろん、それを見た者は幸福を得られると言いならわされており、主人公は愛する人と共にその光を見るのを夢見ているのだが……。女性スタッフ３名のみ（そこに出演者たちが手伝いで加わる）の小編成、１６ｍｍ撮影という身軽さで、こんなに奥行きのある作品を飄々と作ってしまうロメールのこの映画作法にこそ、ヌーヴェル・ヴァーグの精神が原型のまま息づいている。

【クレジット】

監督	エリック・ロメール	Eric Rohmer
製作	マルガレート・メネゴス	Margaret Menegoz
脚本	エリック・ロメール	Eric Rohmer
撮影	ソフィー・マンティニュー	Sophie Mantigneux
音楽	ジャン＝ルイ・ヴァレロ	Jean-Louis Valero
出演	マリー・リヴィエール	Marie Riviere
	リサ・エレディア	Lisa Heredia
	ヴァンサン・ゴーティエ	
	ベアトリス・ロマン	Beatrice Romand

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.